



工学部

学部長からの挨拶

学部長

上林 真司

技術への情熱を

ずっと持ち続けてほしい。

工学が社会を牽引する未来に 確かな技術力を！

現代は第4次産業革命の時代とも言われ、産業界では、過去に例を見ないほど大きな変革の波が押し寄せてきています。人工知能(AI)が囲碁のチャンピオンに打ち勝ったり、家庭や工場には智能ロボットが着実に普及するなど、いまほど工学に対する期待が高まっている時代はありません。これから技術を学ぼうとしているみなさんにとっては、まさに絶好の機会が訪れたと言えるでしょう。みなさんも、私たちの暮らしを豊かにし、人々を幸せにできる高度な技術を持つエンジニアになることを、夢みているのではないのでしょうか？

中京大学工学部では、そんなみなさんの期待にしっかりと応えていきます。基礎力を身につけるための数学や物理、実験系の授業や、それぞれの学問分野に最適な専門科目も充実しています。日々の授業や実践的な研究活動を通して、一つでも多くの経験を積み、できることなら成功も失敗も両方経験して、経験値の豊かな骨太のエンジニアを目指していただきたいと思います。

Learning Point



すべての基礎となる高校数学の 総復習を強くおすすめします。

工学部の学びの特徴は、基礎科目として数学やリテラシ科目を初年次に学ぶことによって、ものづくりのための基礎力を培い、その上で、各学科の専門分野に関わる学科専門科目を基幹から展開へと組みあげるように学習していきます。例えば、ロボットの腕の動きを制御できるようになるためには、腕の幾何学を数学的に理解した上で、ロボットの骨組みとなる金属材料の物理特性を考慮して、加工法と組み付け手順の最適化を行い、駆動モータの性能に適合するような制御プログラムを設計・製作する必要があります。これらの技術を支える知識としては、高校で学んだ数学Ⅰの余弦定理や、物理(力学)で学んだ力のモーメントの計算などがあります。そのため、高校で習った範囲を再度しっかりと復習しておくことが、大学の授業につまずかずに進めるために必須です。

そこで、大学での学びの出発点となる「高校数学の総復習」を強くおすすめします。特に本学部では、基礎科目のエッセンスを抽出した「オリジナルの復習講座」を用意しています。この講座は自分の学力や学習環境に応じて、短期間で集中的に学力を向上させるための自学自習をサポートすることができるように作られていますので、全員に受講していただくことを期待しています。また、工業に関する学科出身者は、数学Ⅰまでしか学習していない人も多いので、大学での学修につまずかないように、ぜひとも入学前に、数学Ⅱ・Ⅲ・A・Bまでを、この復習講座で学んでいただきたいと思います。

通信学習講座もぜひ活用してください。